国営明石海峡公園 神戸地区
あいな里山公園

みごろの花&生きもの 散策コースマップ 2024

5月中旬～6月中旬

季節のおすすめ散策コース♪（ゆっくり歩いて1時間）
おてがるコース♪（ゆっくり歩いて30分）

クリ(ブナ科)
クリの花は、独特のにおいを辺りにただよわせて、虫たちを呼びます。

トノサマガエル(アカガエル科)
緑に黒い斑点模様が特徴的なカエル。田んぼに水が張られる頃、繁殖期を迎えます。

ササユリ(ユリ科)
葉っぱがササにそっくりなユリ。地域によって花の色が少しずつ違っていて、白色～濃いピンク色の可憐な花を咲かせます。

チガヤ(イネ科)
日本全国の明るい草地に生育します。花のあと、白いふわふわの綿毛とともに果実が飛んでいきます。

コウゾリナ(キク科)
花はタンポポに似ていますが葉や茎をさわるとトゲトゲチクチクしています。

ノアザミ(キク科)
赤紫色の花が目立ちます。昆虫たちが蜜を吸いにくる姿もよく見られます。

ホタルブクロ(キキョウ科)
その昔、ホタルを入れて提灯にして遊んだことからこの名がついたそうな。

クララ(マメ科)
この草の根をかむと、くらくらするほど苦い、ということが名前の由来です。古くから薬として利用されてきました。

シュレーゲルアオガエル(アオガエル科)
春になると田んぼや池の周りで〝コロコロ〟という美しい声が響きはじめます。しかし土の中で鳴いているため、その姿はなかなか見られません。

カキノキ(カキノキ科)
歩いていると見過ごしてしまいそうな花ですが、よく見るとほんのりクリーム色をしています。

ミヤマカラスアゲハ(アゲハチョウ科)
光を反射して青く光ってみえる、里山を代表する美しいアゲハチョウです。

ウツギ(アジサイ科)
山野の川沿いや林縁で白い花を咲かせます。別名「ウノハナ」とも。〝卯の花の匂う垣根に〟と唱歌にも歌われています。

ホトトギス(ホトトギス科)
鳴き声がユニークで、昔から「東京特許許可局」とか「テッペンカケタカ」などと表現されます。田植えの頃に鳴きはじめます。

オカトラノオ(サクラソウ科)
小さな白い花が集まってできた花穂が、トラの尾っぽを思わせる、かわいらしい花。

コガクウツギ(アジサイ科)
アジサイの仲間で、花びらのように見えるのは〝がく〟の部分。近づくといい香りがします。別名コンテリギとも。

ドクダミ(ドクダミ科)
ちぎると独特のにおいがしますが、乾かすと臭みが消えておいしいドクダミ茶になります。

木陰を歩けるスポット

木見川散策路 ～緑陰の散策～
樹木の葉が初夏の日差しをかわし、心地の良い涼しげな散策ができます。

ウメ(実)(バラ科)
ウメの果実は、梅干しや果実酒、シロップ漬けなど、さまざまな楽しみ方があります。里山の重要な果実のひとつです。